

# 受験者に聞いた! 半導体テスト技術者検定を受けたワケ

— 半導体テスト開発に従事するUTテクノロジーの場合 —



▲UTテクノロジー「テストソリューションセクション」の方々

パワーデバイス・イネーブリング協会(PDEA)では、半導体業界における人材育成の観点から2014年から半導体テスト技術者検定を開始、半導体テスト分野を中心にこれまで延べ600人の受験者が検定を受けている。

この検定では半導体の基礎から開発、製造、テスト、品質保証に関して一定の基準で資格を付与。半導体の設計・製造・テストエンジニア、品質保証、半導体を利用した回路設計エンジニアなど、半導体に関わる技術者の地位向上、社会認知度の向上のほか、目標、学習の指針となることを目指す検定制度となっている。



▲井上みえさん

これまで延べ600人が同検定を受験しているが、今回は実際に検定試験に挑んだUTテクノロジーの「テストソリューションセクション」の方々

にインタビューする機会を得た。同社では社員のスキルアップの一環として同検定に着目。これまでに30人以上が検定に臨んでいる。

UTテクノロジーは製造分野へのエンジニア、設計開発技術者の派遣・請負を行うUTグループの子会社。半導体は主力分野の1つであり、半導体のテストプログラム開発などを行うテストソリューションセクションが14年に設立された。

半導体メーカー大手顧客企業様の各拠点でテストプログラム開発などの業務に従事している。

今回、半導体テスト技術者検定を受験、見事検定に合格したMCUテスト開発グループの長利尚樹氏、小野浩司氏、車載制御テスト開発グループの井上みえさんに検定を受けた経緯、そして検定取得後日常の業務にどう生かされているのか話を聞いてみた。

検定を受けようとしたきっかけについて井上さんは「私自身は文系出身で、半導体に対する知識がまったくなく、未経験者なりにステップアップできないかと考えているなか、こ

の検定の存在を知り受けることを決めました。私は今回3級を受験し合格することができました」と話す。

UTテクノロジーではもともと半導体テスト分野での事業を展開するなかで、ベテランエンジニアなどの経験者を積極的に採用してきたが、今後の人材確保の観点から現在は未経験者も積極的に採用を行っている。井上さんはそういった未経験者のなかで今回検定を受けた1人だ。



▲小野浩司氏

長利氏と小野氏は2級すべて(「設計と製造」「応用と品質」「パワーデバイス」)合格し、数少ない半導体テスト技術者検定 1級 合格者として認定されている。

小野氏は経緯について、「『知識の棚卸し』という目的で今回検定を受けることにしました。半導体テストに対する知識は自分なりにある程度蓄えていると思っていたが、ここで一度検定を受けることで自分の能力を再確認できると思った」と振り返る。また、長利氏は「これまで、テストに関するこういった資格や検定制度といったものは世の中になく、こういったものなのかまずは受けてみたいと思ったのが正直なところだ」と、最初の出発点は興味本位であったことを明かす。

実際に試験内容はどうだったのか、2級を受けた小野氏は、「『応用と品質』『設計と製造』は日ごろの業務で聞いたことがあるワードなどがあつたが、『パワーデバイス』に関しては聞き慣れない言葉が多く大変だった」と振り返る。



▲長利尚樹氏

井上さんは、8月に教材での勉強をスタート、年明け2月に検定を受けており、業界未経験者でありながらもわずか6カ月で合格した。検定を通じて、井上さんは「わからないことが勉強を通じて理解することができ、モチベーションの上昇につながった」と非常に良い経験ができたという。長利氏は「新しい技術などはこうした検定を通じて知ることでもできた」としており、知識の棚卸しと同時に新技術に触れる機会も検定にはあるという。

UTテクノロジーでは今後も検定制度を活用して社員のスキルアップやモチベーション向上を図っていきたいという。

ちなみに、現在同社は顧客企業への請負が主であるが、18年度からは新たにテストプログラムの受託開発事業にも乗り出しており、業務拡大に力を入れている。PDEAでは検定制度がこうした事業拡大の一助となるよう、今後も業界への認知度向上に努めていく考えだ。

## 半導体テスト技術者検定【3級】【2級】

1級は、2級の3種類の検定「設計と製造」、「応用と品質」、「パワーデバイス」のすべてに合格された方を1級として認定いたします。

|      |  |
|------|--|
| 検定名  | 半導体テスト技術者検定 3級<br>半導体テスト技術者検定 2級「設計と製造」 / 半導体テスト技術者検定 2級「応用と品質」<br>半導体テスト技術者検定 2級「パワーデバイス」   |
| 試験会場 | 全国約200カ所<br>CBT(Computer Based Testing)方式で実施予定<br>(受験生が全国47都道府県、全国約200カ所のテストセンターの中から、都合の良い受験地、日時を予約し、テストセンターにてPCの画面に提示された問題に解答することで検定を受験する方式。) |
| 受験資格 | 半導体デバイスに興味のある方ならどなたでも受験可能です。年齢、経験等の制限はありません。   |
| 受験料  | 3級 一般：¥9,000 (税別) 学生：¥6,000 (税別)<br>パワーデバイス・イネープリング協会会員企業の社員：¥6,000 (税別)   |
|      | 2級 一般：¥12,000 (税別) 学生：¥9,000 (税別)<br>パワーデバイス・イネープリング協会会員企業の社員：¥9,000 (税別)  |

詳しくは当協会のホームページをご参照ください。  
メールマガジンにて検定の最新情報をお届けします。  
是非ご登録ください。

<https://pdea.jp/exam/>

